

大庫を修葺せし時間内の舊蔵二萬餘冊を發出せしに尙此書目と相印證するに足りしといふ。此書は四庫に收めず刻本罕なりしが今人月、陸清閣、持靜齋の兩鈔本を得て梓行せり。以て明代藏書の大略を見るべし。

以上四種は近刊適園叢書中に收む。(有高)

●清朝書目誌 一大冊 文學博士 内藤虎次郎編

昨年我が京都帝國大學にて開設せられたる夏期講演に於て内藤博士が清朝史通論を講せし際、博士が參考材料に供せむ爲め諸方面より蒐集し嚴正なる鑿識の下に審査展觀したるものをコロタイプ版に附したるものなり。書目共に清朝文化を代表せる一代の傑作、書は最近物故せし楊守敬、現存せる吳昌碩に至る迄五十七家。畫は所謂四王吳惲の六大家より閻秀をも加へて八十七家皆其の面目躍如たり、尙簡潔なる説明を附し清朝二百餘年の名家展べて百四十頁の中に在り。所謂文化史的方面研究の好資料なり(定價六圓五十錢 油谷博文堂發行)〔那波〕

●南宗衣鉢及跋尾 羅叔言輯述 長尾雨山譯

繪畫界空前の大著述なりと稱せらるる此の冊子は羅叔言氏が現今迄に存在せる支那畫の實物に就て流派を分ち系統を釋れて論述せるものの第一巻なり、即ち六朝一點、唐朝三點、五代八點、凡てコロタイプ精版にして、體裁は立幀と長巻とより成り、跋尾は別

に一冊となれり、是亦支那文化史研究の好材料なり、第二巻以下續々出版の豫定の由。(第壹卷 立幀十種一套、長巻二種、定價合計十七圓 油谷博文堂發行)〔那波〕

●Kantolne Guiland : Modern Germany and her historians. (London, 1915)

史學研究熱の旺盛史的思想の發達が實社會に及ぼせる影響勢力の最も顯著なる適例は、これを十九世紀に於ける獨逸統一事業に貢獻せる獨逸史家の勳功に求めざるべからざるなり。而して彼等史家の事業はかの一部人士の信するが如く、史學を或實際上の目的に隸屬せしめ單にこれが方便手段として活用せらるゝことにより始めてその實効を收め得べきのみとする鮮見を斥け、飽迄科學的立脚地に據る所の獨立自由なる史學研究が實社會の時代潮流に寄與する感化力の決して鮮少なからざる實例を示すものといふべし。かのニープ、ランケ以後の史學者の研究事業は實に這般の消息を示すものにして、是等歴史家と時代との密接なる關係を辿り、獨逸帝國思想發展の徑路を尋ぬるは極めて興味深き問題たるを失はず。本書は如上の近代獨逸と史學者との關係即ち獨逸史家が國民の實生活に史的思想を注入し帝國統一事業を喚起せしめたる所以を説述せるものなり。著者は先づ序論に於て十九世紀初頭に於けるプロシアの國民的思想勃興より説き起して、これと關聯せる